



しみずっ子だより

「折り合いのつけ方」

校長 藍原 万里子

大型連休が終わりました。五月。新しい環境にだんだん慣れてきた頃ですが、「がんばるぞ。」と心に決めて始まった四月から、少しゆるみが出始めるのも、この連休明けの時期です。この時期こそ、周囲の大人の言葉がけと目配りを必要とする大事な時です。

新しい学年に慣れてきたこの時期だからこそ、毎日の学校生活や家庭生活の中で思いどおりにならないことにたくさん出会います。子どもたちには、思いどおりにならない場面での折り合いのつけ方を学び、我慢する心や感謝する心などを身に付けてほしいと願っています。折り合いのつけ方を学ぶのも、生きていく上ではとても大切なスキルだと思っています。このスキルを身に付けるためには、遊びの中での譲り合いやあきらめずに努力して今までできなかったことができるようになっていくことなど、一つ一つの体験を通して子どもたちは多くの人と出会い、そこから、我慢する心や頑張る力、さらには、人に感謝する心などを大切にする真の「生きる力」を身に付けます。



新しい学年がスタートして一か月半が経ちました。いろいろなことに慣れてきました。だからこそ、子どもたちの小さな変化に気づける努力をしなければなりません。張り切っていた気持ちが何かでつまずいて気持ちが沈んでしまったり、時には、心ない言葉で相手を傷つけてしまうこともあります。思いどおりにならないことを乗り越えながら、子どもたちは成長していきます。思いどおりにならない壁にぶつかるとも、子どもの成長には欠かせないものです。子どものことを一番よく知る学校や家庭、そして地域の方々にも協力いただきながら、子どもの良いところを認めつつ、時機をとらえ、温かく見守りアドバイスしていただけることが大切だと感じています。

一年生を迎える会

児童会担当 溝呂木 真帆

四月二十五日、「一年生を迎える会」が行われました。運営委員会のメンバー九人はこの日のために、準備や練習を重ねてきました。当日は、六年生と手をつなぎながら一年生の登場です。五年生が作ってくれた花のアーチをくぐり二〜五年生の拍手に迎えられました。運営委員のメンバーが学校行事を紹介すると、一年生のみんなは目を輝かせながら聞いていました。また、全校児童で「清水っ子元気宣言」を合唱しました。

一年生からは、元気いっぱいにお礼の言葉の発表があり、会場が和やかな雰囲気になりました。一年生もいよいよ清水っ子の仲間入りです。どうぞよろしくお願いいたします。

授業参観・懇談会

教務 長谷川 信一

本年度第一回目の授業参観・懇談会が四月二十七日に全年で行われました。ゴールデンウィーク初日ということもあり、ご家族で参観される方も多数ありました。進級した新しいクラスでのお子さんの様子をご覧になり、『成長』やクラスの『落ち着いて温かい雰囲気』を感じられた感想も多く寄せられました。懇談会にも、昨年を上回る多くの方に参加していただき、大変にありがとうございました。

「懇談会に出席して先生の考えやクラスの雰囲気がよくわかりました」「子どもについて改めて考える良い機会となりました」といった懇談会に感想も寄せられました。学校はいつでも参観可能です。また、学年の行事等のお手伝いをお願いすることもありますが、ご都合がつけば、学校を足運んでいただきたいと思います。願っています。

五校避難・引き渡し訓練

担当 小萩沢 さくら

五月一日水曜日、五校避難・引き渡し訓練が行われました。お忙しい中、保護者の皆さまにはお迎えに来ていただき、ありがとうございます。今回は初めての五校合同の引き渡し訓練ということでしたが、皆さまのご協力のおかげで、無事に引き渡しをすることができました。

子どもたちは四月に、今年度最初の避難訓練を行い、避難経路や避難の約束などを確認しながら訓練を行いました。一人一人が真剣な表情で取り組む様子が見られました。今回の引き渡し訓練でも、子どもたちは落ち着いて避難し、校長先生の話にもしっかりと耳を傾けて聞くことができていました。

実際に起きてはほしくないことですが、もしもに備え、起きた場合を想定してより実践的な訓練を行うことは大変重要なことと考えています。東日本大震災のような大きな地震や災害がいつ起こらないとも限りません。日頃から危機管理意識を高めて、「自分の身は自分で守る」ということを今後も指導していきたいと思えます。ご家庭でも災害時の避難の仕方や行動についてなど、話し合う機会をもつていただければと思います。



二年生遠足【生命の星・地球博物館】

二年担任 宗形 恵里

五月二日、子どもたちが楽しみに行っていた遠足に出かけました。前日から朝にかけての雨の影響で行き先は「生命の星・地球博物館」に変更になりましたが、お昼は太陽の下で、おいしいお弁当を食べることができました。博物館では、クイズを片手に、グループで相談しながら一生懸命に答えを探していました。

二年五組 N K

きょうは、えんそくでした。ぼくはわんぱくらんどにくのをたのしみしていました。でも、あさおきると雨でした。なので、ちきゅうはくぶつかんになりました。ちきゅうはくぶつかんはいろいろなものを見てとてもたのしかったです。



四年生校外学習【伊勢原浄水場・宮ヶ瀬ダム】

四年担任 河野 遥樹

四月に、四年生は社会科の校外学習として伊勢原浄水場と宮ヶ瀬ダムに行きました。伊勢原浄水場では、どのようにして水がきれいになるのかを見学させていただきました。宮ヶ瀬ダムでは、観光放流をすぐ目の前で見学し、その迫力に子どもたちからは大きな歓声が上がりました。今回の校外学習を通して、普段、自分たちが何気なく使っている水が、いかに大切な資源であるかを理解することができました。また、それを守る人々の努力や工夫を知ることができました。

四年二組 I M

ぼくは、伊勢原じょう水場に行きました。じょう水場では、ぼくたちが水を飲むようにする機械や工夫がありました。ぼくは、じょう水場の人たちにありがとうと言いたくなりました。次に宮ヶ瀬ダムに行きました。観光放流は、はく力があって、とてもすごかったです。水とエネルギーかんではダムを作った方法や、どこからコンクリートを持ってきたかなど、いろいろな勉強になりました。

六年生遠足【国会議事堂・江戸東京博物館】

六年担任 関根 瞳

新学期がはじまってすぐの四月十八日(木)、東京方面へ遠足に行きました。天候にも恵まれ、日本の政治の中心である「国会議事堂」と、江戸の文化や明治以降の東京の暮らしが分かる「江戸東京博物館」の二カ所を巡りました。どちらも、しっかりとした見学態度で臨めました。バスの中も、各クラスがそれぞれレクを考えて盛り上げ、充実した一日となりました。

六年一組 S Y

私は、国会と江戸東京博物館に行つて勉強になったことがあります。それは、昔の人たちは今のよう生活が楽ではなかったということです。せんたくするのにも手で洗ったり、れいぞう庫も小さめで、かまでご飯をたくにも時間がかかったりするということです。国会に行つた時のふかふかなレッドカーペットの上を歩いたときは、天皇陛下のような気分になりました。

児童指導

児童指導担当 井上 章

新年度が始まり一カ月が経ち、一年生も学校生活に慣れて始めてきました。二年生も六年生に関してもいえることですが、「集団生活のルールやマナー」、「良いことと悪いことの判断」についてしっかり身につけていきたいと思います。集団生活のルールやマナーとは子どもたちが社会にでたときにお互いに気持ち良く生活するための習慣です。まわりの人への気遣いや次に使う人のことを考えて使えばなしにしないことなど、様々な場面で指導をしていきたいと思います。また、「良いことと悪いことの判断」をしっかり身につけて、自分だけでなく、友達の命を大切にすることを学んでほしいと思います。そして、悪口、暴力、いじめなどがなく、しみずつ子が安心・安全に過ごせるように教師が一丸となり指導をしていきたいと思つていますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

五月に入り、愛のチャイムが午後六時に鳴るようになりました。チャイムが鳴った後、子どもだけで外出させないようしてください。また、田に水が入るようになりました。子どもたちが用水路の近くで遊んでいましたら、声をかけていただけると幸いです。よろしくお願いたします。

スクールカウンセラー紹介

教育相談コーディネーター 山口 早苗

今年度も「不登校対策推進実践事業」の一環としてスクールカウンセラーが配置されることになりました。原則として月に一〜二回程度で隔週月曜日十一時から十五時の時間帯に勤務される予定です。

不登校ばかりでなく、子育てにはさまざまな悩みがつきものです。お子様に関するいろいろな心配事で保護者の皆様が一人で抱え込むことのないように考えていこうというシステムです。ご相談の内容は秘密が守られますので、安心してお気軽にご相談ください。窓口は、山口早苗が担当します。「心の相談室」(毎週火・木曜日10時〜14時です)と合わせてご利用下さい。事前にご希望日時の連絡をいただければ、日程の調整をしていきたいと思います。よろしくお願いたします。



今年度から清水小学校のスクールカウンセラーとして勤務させていただきます。普段は厚木市青少年教育相談センターで心理相談委員をしています。子どもたちが元気になるために応援をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

スクールカウンセラー来校予定日

- 五月 十三日、二十七日
- 六月 十日、二十四日
- 七月 八日
- 九月 九日、二十四日
- 十月 七日、二十一日
- 十一月 十一日、二十五日
- 十二月 九日、
- 一月 二十七日
- 二月 十日
- 三月 十日、二十四日

